

学 校 教 育 目 標	未来へ、よりよく生きる
目 指 す 学 校 像	一人ひとりの Well-being を実現する学校
重 点 目 標	1 個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実 2 自由の相互承認 自他を尊重する心の育成 3 発達支持的生徒指導によるいじめ防止の推進 4 学校を核とした地域づくりの実践 5 安心・安全の確保（大規模災害、食物アレルギー、不審者侵入）

達	A	ほぼ達成（8割以上）
成	B	概ね達成（6割以上）
度	C	変化の兆し（4割以上）
	D	不十分（4割未満）

学 校 自 己 評 価								学校運営協議会による評価	
年 度 目 標				年 度 評 価				実施日令和 年 月 日	
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策	学校運営協議会からの意見・要望・評価等	
1	【学びの質の向上に関する取組】 （現状） ○全国学力・学習状況調査や市学習状況調査において、調査対象の教科すべてにおいて、全国、市平均と比較して、概ね良好である。 ○生活習慣等調査において、全国、市の回答状況と比較して、概ね良好である。 （課題） ○全国学力・学習状況調査や市学習状況調査の結果分析から、複数の教科で2極化の傾向にあり、個別最適な学習の充実が求められる。 ○個別最適な学びの要素を取り入れた授業の際に「何をしたらいいか分からなかった」等の意見も見られた。	・指導の個別化や学習の個性化による学びの自律化 ・教員の指導力の向上と授業改善による質の高い学びの充実	①課題の設定、解決のプロセス、振り返りの要素を意識した授業を行う。 ②ドリルパークやスタディサプリの活用や、テスト前のチャレンジスクールへの参加をとおして、個に応じた学びを推進する。	①振り返りの時間が十分確保されたとともに、効果的な振り返りについて研究されたか。 ②カリマネデザインマップをもとに、単元ごとに生徒個々の学習の状況を適切に確認するとともに、一人ひとりの取組を評価、承認したか。					
2	【子どもの発達や心のサポートに関する取組】 （現状） ○全国学力・学習状況調査において、「学校に行くのは楽しいと思いますか」の質問に対し、肯定的な回答をした生徒の割合は高い。 ○不登校生徒に対しては、外部機関等を紹介し、連携を図って支援している。 ○いじめ重大事態となった事案が発生している。 （課題） ○学校に登校できない生徒の中で、学校以外の何処とも繋がっていない生徒がいる。	・ICTを活用した生徒指導の推進 ・学校内外の連携に基づく「チーム学校」による生徒指導体制の充実	①生徒指導と学習指導を関連付けたデータ分析や、課題を抱えた生徒の早期発見のために ICT を活用する。 ②不登校生徒への教育機会の確保のために ICT を活用する。	①スクールダッシュボードが効果的に活用され、教員の観察や経験に加味され適切な支援が行われているか。 ②不登校生徒に対し、オンライン授業や個別の教材等による学習が行われ、適切に評価がされている。					
3	【地域とともにある学校づくりに関する取組】 （現状） ○多くの生徒が地域に出ていき、様々な活動を通じて学んでいる。 ○学校運営協議会で、どのような子どもを育てていくのか、どのような地域としていきたいのか熟議を行っている。 （課題） ○学校運営協議会で熟議された内容について、周知不足である。具体的な取組を通じて周知していきたい。	・学校運営協議会を中心とした地域とともにある学校の実現 ・積極的な情報発信と、教育活動参観の機会の設定	①学校運営協議会で何をを目指すのか、どうあるべきかを共通理解したうえで、熟議の結果を具体的な行動とする。 ②生徒の成長を支える当事者であるとの自覚を、教職員、保護者、地域住民がそれぞれ持つように促す。	①さいたま市コミュニティスクール成長モデルを活用するとともに、熟議の結果、具体的な行動が行われたか。 ②保護者会や学校だより、会議等で、保護者や地域住民への説明を行うことができたか。					
4	【教育環境の整備に関する取組】 （現状） ○校舎リフレッシュ工事中のため、仮設校舎の使用、敷地内の立入禁止箇所が存在、校庭半分の使用不可等、制限された状況にある。 ○学級増により、教室の使用が限られている。 （課題） ○校舎リフレッシュ工事に伴い、教職員の業務が増大しているのと同時に、教育活動が制限されている。	・リフレッシュ工事の安全で円滑な実施 ・生徒の安全の確保	①工事関係者との定期的な打ち合わせを行い、工事に関する正確な情報を周知する。 ②工事に関する学校からの要望を適宜伝え、安全と教育活動を確保する。	①工事関係者との定例の打ち合わせが行われ、工事に関する情報が見通しをもって周知されたか。 ②工事に関する要望が適切に行われ、教育活動への支障が最小限ですんだか。					
5	【教職員のキャリア形成に関する取組】 （現状） ○個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実をテーマに、学校全体で研修を行っている。 ○書籍の紹介や自主的勉強会の実施等、職員間での学び合い、高めあっていこうという雰囲気がある。 （課題） ○健康で安心してチャレンジすることができる、Well-being が職場環境づくりを図る。	・同僚性と創造を基盤とし、チャレンジを奨励する組織の醸成 ・教職員が健康で能力を最大限に発揮できる環境づくり	①計画的に校内研修を実施するとともに、自主的勉強会の実施を奨励する。 ②外部の研修等に関する情報を共有する仕組みを構築する。	①個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実が図られたか。 ②外部の研修等に関する情報を共有することができ、参加が促されたか。					